



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



東よか干潟にオオハクチョウ出現！ (撮影：加藤 芳隆さん)

野鳥さが 204号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 唐津市の風力発電設置計画に関する報告（第2回）-----4ページ
- 傷病鳥獣の保護について-----5ページ
- 平成27年度 愛鳥モデル校指導報告-----7ページ
- 各地の観察会報告-----8ページ
- 有明海の満潮時刻-----13ページ
- 皆さんからのおたより-----14ページ
- 2016九州・沖縄ブロック大会 in 筑後のご案内-----17ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報-----18ページ
- 県外探鳥ツアーのご案内-----20ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から-----21ページ
- 近隣地区の観察会情報-----24ページ
- 観察会会場までの案内-----25ページ
- 観察会などのお知らせ（2016年3月～5月）-----26ページ



●2015年度 第8回役員会

【日 時】2016年2月7日(日)

【参加者】宮原明幸、青柳良子、佐久間仁、橋本泰博、坂田紀子、蒲原留美、島田洋

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがありません)

(1) カラスカウントについて

- ① 佐賀城内公園周辺がカラスのねぐらとなっている。
- ② 佐賀市はカラスの調査カウントを佐賀県支部に委託した。
- ③ 11月と2月に佐賀城内公園周辺でカラスのカウントをしている。

(2) 唐津市の風力発電について

※4 ページに「唐津市の風力発電設置計画に関する報告(第2回)」、22 ページに佐賀新聞の記事を掲載しています。

(3) 九州・沖縄ブロック大会について

- ① 今年の九州沖縄ブロック大会は筑後支部が担当する。
- ② 会期は4月9～10日。講演会や観察会(東与賀海岸)が予定されている。
- ③ 会費は宿泊で13,000円。

※18 ページに参加案内を掲載しています。

(4) カササギの巣について

- ① カササギの営巣は近年では、電柱中心となっている。
- ② カササギの保護に関しては最近、九州電力にも理解や協力の姿勢がみられる。
- ③ 佐賀県支部は九州電力にカササギ営巣への配慮を申し入れた。
電柱機能とカササギの保護を両立させたい。調査、研究、アイデアが期待される。
- ④ 佐賀県支部も調査を継続する。

●カササギの巣を落とさないで! (支部長:宮原明幸)

1月15日、青柳・田中丸・佛坂・宮原の4名で九州電力へ『カササギの巣を落とさないで!』2月の巣作りの時期～6月の巣立ちまでの期間は、巣の撤去を止めて欲しい旨、お願いに行って来ました。先方は、佐賀配電事業所設備保全グループ田中グループ長・田久保副長・久保田さんで対応頂き、「出来るだけカササギと共存できる方向で進めて行く」との回答を頂きました。後日、田久保副長より連絡があり「電柱にカササギの巣を掛ける棚を設置するので、場所は何処がいいでしょうか?」との問い合わせでした。九州電力より早速前向きな対応がいただけました。今後、巣の保全に向け、打ち合わせを進めて行きます。



(5) 県森林公園について

- ① 森林公園では多くの樹木が伐採されて大きな問題となっており、佐賀県支部から野鳥や自然への配慮を求める申し入れを行った。
- ② 植栽すべき樹木などについて既に一覧は作っており、今後協議していく。

(6) 傷病鳥獣保護について

- ① 佐賀県は傷病鳥獣の保護体制は極めて貧弱である。
- ② 傷病鳥獣の保護には、人、施設・動物病院などのハード、お金が必要である。
- ③ 佐賀県支部も現段階で格別のアイデアは有していないが、今後もこの問題には向き合っていく。

※5 ページに詳報を掲載しています。

(7) ボランティア活動保険について

- ① 観察会も事故がないとは限らない。参加者に関してはすでに保険に加入している。
- ② 観察会のリーダーに関する保険としては、ボランティア活動保険が候補となる。
- ③ 探鳥会活動が「ボランティア活動」に該当するか、各地の社会福祉協議会や保険会社でも考え方・対応が分かっているようだ。
- ④ 佐賀県では、ボランティア活動保険加入については今のところ不調である。

(8) その他、東よか干潟、森林公園関連、会員増への取り組み、行事予定についての話し合いを行った。

- 野鳥さが 201 号の役員会報告に掲載した「特定外来生物・カナダガン」情報について、長崎市の引地秀司さんから新聞記事をいただきました。(掲載が遅れてすみません)



(15/12/9 付け：長崎新聞)

カナダガンに関しては（公財）日本野鳥の会のWEB サイトにもパブリックコメントが掲載されていますので、リンクを記載しておきます。

<http://www.wbsj.org/activity/conservation/law/alien-species/canada-geese-opin>



唐津市の風力発電設置に関する報告(第2回) (事務局:島田洋)

【はじめに】

唐津における風力発電設置に関しては、事業が進行しつつあります。唐津市湊地区と相賀地区に各 1 基ずつ計 2 基の風力発電設備が建設される予定です。自然電力(株)より日本野鳥の会佐賀県支部へ環境アセスなどについて説明をいただいたので報告します。

【日 時】2016 年 1 月 20 日(水)

【場 所】佐賀駅前ワシントンホテル 1 階のカフェレストラン

【出席者】自然電力: 畦地啓太、井手侑治

日本野鳥の会佐賀県支部: 佐久間仁、島田洋

【面談の内容】

★事業進行の現状(自然電力からの説明)

- ① 唐津市との協議会: 2015 年 10 月より開始した。
- ② 自主環境影響評価: 2015 年 10 月より開始した。野鳥調査は 9 月開始。1 年間の予定。
- ③ 地域説明会: 2015 年 12 月に地元で開催した。今後も予定あり。
- ④ 工事準備は 2016 年 11 月開始予定。
- ⑤ 土木工事は 2017 年 3 月開始予定。
- ⑥ 2017 年 6 月に試運転。7 月に運転開始の予定。

★環境アセスについて(自然電力からの説明)

- ① 評価項目は 4 項目である。「騒音」「低周波音」「動物」「景観」
- ② 評価について調査の方法・予測の報告書がまとめられた。これを方法書という。
- ③ 方法書の公開が 1 月 15 日に唐津で行われた。
- ④ 1 月 20 日の面談は日本野鳥の会佐賀県支部への方法書の説明でもある。
- ⑤ 動物については、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫等に関する動物相の状況調査。
- ⑥ 鳥類保護の観点からは渡り時の移動経路に関する調査などを実施する。
- ⑦ 2015 年 9 月に 3 日間にわたり鳥類の調査が行われた。
- ⑧ 9 月の調査では、ハチクマ、ハヤブサ、アマツバメなど 32 種類が確認された。
- ⑨ 調査は春にも実施する予定である。

★佐賀県支部からの質問、提案

- ① 渡り鳥の飛来は、年によって変動がある。調査は、単年だけでは不完全であろう。
- ② 春のハチクマの渡りについては、佐賀県支部はデータを持っていない。
- ③ 当該地区に関しては佐賀県支部でも調査をしてみたい。

★補足

- ① 現在、唐津周辺には玄海町などに風力発電用の風車が 7 基ある。
- ② いずれも発電規模は約 1500KW である。大きさは建設予定のものと同ほぼ同じ大きさである。





保護された野生鳥獣の管理・育成が可能な方はご一報ください！

野生の鳥獣が怪我や病気で保護されたり、衰弱した雛や幼鳥が保護されることがしばしばあります。傷病鳥獣の保護に関しては、現在、都道府県が中心になって対応していますが、鳥獣保護センター等の受入れ施設を設けている県や動物園などに保護業務をお願いしている県もあれば、鳥獣保護員等に全面的にお願いしている県など、その体制は県によって様々。残念ながら佐賀県は一番最後のパターンですが、傷病鳥獣の保護体制をどうあるべきか、今後も県などと協議していく必要があります。

ただ、県と協議を深めるに際しては、

①佐賀県内には、動物園や鳥類センターといった、野生動物の扱いに長けた獣医が配置された施設がないこと。

なお、福岡県・長崎県など隣県に動物園等があり、佐賀県からの鳥獣を受け入れて下さっているケースがありますが、他県からの鳥獣持込には限度があること。

②「鳥獣保護センター（仮称）を新設して専門職員の配置を。」と、あらためて県に主張することはできても、昨今の財政事情等から、容易に実現するとは考えられないこと。

③鳥獣保護員の皆さん全員が、傷病鳥獣の管理・育成に十分対応できるとは限らないこと。等の事情を念頭に、（先々の構想はそれとして、）無理のない、より現実的な傷病鳥獣保護体制づくりを考えていくべきと思います。

そのような事情も含めると、

- a 県民から県や市町・鳥獣保護員等を経由して指定の動物病院等に持込む。
- b 指定の動物病院等で検査・治療。
- c 検査・治療後に、指定のボランティアが指定動物病院等から引き取って保護・養生。
- d 保護・養生で自然復帰が可能となり次第、自然復帰へ。

といった方法や手順が、より現実的な案ではないかと思います。

その意味で、神奈川県「野生動物救護ボランティア制度」が参考になると思っておりますが、その場合でも、受入可能なボランティアの方がおられるかどうか第一ハードル。

については、こういった体制づくりが具体化すれば、当然、県民の皆さんに広く呼びかけて募集することになるでしょうが、まず第一に、野鳥の会の会員の皆さんの中で、傷病鳥獣の管理や養生、自然復帰に対応可能な方がどれくらいおられるか把握いたしたく、次の条件に合致できる方は3月20日までに担当（佐久間）までご一報ください。

《お尋ねに際してご検討いただきたい条件》

- ① 傷ついたり、病気で弱った鳥獣の保護育成・養生に強い関心がある。
- ② 鳥獣の育成・養生に余裕を持って時間と労力を費やせる。
- ③ ご自身だけでなく、家族の皆さんの理解が得られる。
- ④ 鳥獣の管理育成に利用可能な小屋やビニールハウス、水道設備等がある。
- ⑤ 鳴き声や匂いなどのクレームが周囲から生じにくい環境にある。



《お尋ねしたい内容》

A 受入可能な鳥獣は？

- ① 全ての鳥獣で対応可能。
- ② 鳥類のみ（哺乳類や爬虫類・両生類などは不可）
- ③ 鳥類のみ（中型・小型の鳥のみ。サギやウなど大型鳥は不可）
- ④ 鳥類のみ（小型の鳥のみ。）
- ⑤ その他（具体的条件等）

B 受入可能な時期は？

- ① 通年対応可能。
- ② 受入可能な時期に限りあり。（具体的に）

C その他、傷病鳥獣の受入に必要な条件（）

なお、この意向調査でお示しいただいた場合、さらに詳しく事情をお聞かせいただきますが、その聞き取り等の結果でご希望に沿えない場合があることはご理解ください。

また、もしこのような取り組みが具体化していく場合も、

- ① カラスやドバト、カワウなどを扱うべきか。
- ② イノシシやアライグマなどの有害鳥獣はどう扱うのか。
- ③ 疥癬症など伝染しやすい疾病の鳥獣も扱うべきなのか。
- ④ ボランティアの研修や養成体制をどう作るか。
- ⑤ 動物病院や獣医師との連携体制をどうするか。
- ⑥ 餌代や飼育ゲージの購入費など、所要費用をどうするか。

など、様々な検討課題が山積していることはご承知おきください。

【担当者の連絡・お問い合わせ先】佐久間 仁

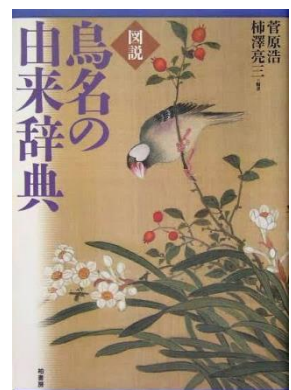
☎0955-74-7230 Eメール hkis_sakuma3@yahoo.co.jp

※電話については、通常時は留守電になっていますので、連絡先等を伝言願います。
折り返しお電話させていただきます。）

●支部資料室からのお知らせ

資料室に新しい本が入りました。「鳥名の由来辞典」です。
「鳥を見つめた日本人の眼差し・・・豊富な図版とともに日本人の自然への関わりを読み解く“鳥と人の文化誌”
収録図版 700 点余の大辞典を待望の普及版で！

お読みにになりたい方は 青柳（090-1659-7353）まで
ご連絡ください。





平成27年度 愛鳥モデル校指導報告

(報告者：馬場 清)

(1) 玄海町立玄海みらい学園

今年からの指定校です。町内6つの小中学校が新しく統合された一貫校で、1年生から9年生まで全生徒数527名の新しい大きな学校です。

- 野鳥座“寸劇”(平成27年12月15日)・・・1～2年生101名に支部独自の指導内容の野鳥座“寸劇”「身近な鳥とその暮らし」(渡りと食物連鎖の話)を演じました。子どもたちは各野鳥たちの演技に目を凝らし釘づけです。素直に見入っております。ハヤブサ役の先生の出番に大騒ぎの場面もあり、野鳥の食べ物さがしでも101名の子どもたちは真剣に我先に手を上げて、大変の盛り上がりでした。

後日、たくさんのお礼の作文集を頂きました。

スズメ役(黒木)、アオサギ役(青柳)、ジョウビタキ役(江口)、ハヤブサ役(先生)、ナレーション(荒木)、ビデオ撮影(田中丸)

(支部指導員)田中丸、青柳夫妻、黒木、江口、荒木、馬場

- 野鳥講演&野鳥観察(平成27年12月17日)・・・7年生(旧中1生)59名。

午前中は野鳥講演です。プロジェクターを使い、唐津市上場地域に居る野鳥の映像、鳴き声の解説、鳥の渡り、食物連鎖などの話をしました。ハイタカのはく製、放棄された鳥の巣の展示もしました。

午後は野鳥観察で校外へ出ました。観察予定地(三島神社)へは寒風が強くて行くことが出来ず、学校横の堤防で短時間の観察です。隣接の町民会館へ移動して、2階のガラス張りの室内やテラスより仮屋湾内や沖の養殖イカダ付近の観察を行いました。

観察された鳥はカンムリカイツブリ、セグロカモメ、マガモなど16種類。

(支部指導員)佐久間、田中丸、松原、福田、馬場

- 巣箱作り(平成28年1月21日)・・・4年生65名。

65名を教室の関係で2グループに分けて巣箱づくりを2回行いました。

2人組で2個をお互いに手助けして作る作業です。初めて手にするカナヅチです。

力の入れ具合、クギの打ち方でみんなは苦勞をしていた。部材の板を間違えたり、指先を叩いたりして、みんな良い体験が出来たことでしょう。

家の庭や公園の木々に取り付けて、小鳥が営巣したらどんなに喜ぶだろう! と思いながら子どもたちと別れました。(支部指導員)佐久間、田中丸、松原、馬場



(2) 伊万里市立東山代小学校

☆ 指導対象・・・5年生児童 55名

■野鳥学習会（平成26年12月18日）・・・プロジェクターで学校周辺に居る野鳥の映像と鳴き声の解説、猛きんのはく製や小鳥の放棄巣の展示、ツル分散化事業のマナヅルのデコイやツル・野鳥の写真の展示などを伊万里市役所との共催で行いました。また、子どもたちから鳥類について、40数項目の質問があり、支部会員の皆様のご協力で回答を頂き、子どもたちに回答を送りました。

（支部指導員）佐田、山崎、馬場

■野鳥観察会（平成28年1月22日）・・・6グループに分かれて、指導員1名を配置し、東山代町運動公園横の堤防上より伊万里湾を眺めながら、400m先の長浜干拓地までの行程です。海面や河口でカヌムリカイツブリ、セグロカモメ、ツクシガモ、イソヒヨドリなど32種類を観察。干拓地は農道の改良工事のため人や作業機械があり、マナヅルのつがいは河口の向こう側に渡っており、観察することが出来ませんでした。（支部指導員）佐久間、佐田、田中丸、松原、山崎、馬場



各地の観察会報告



■朝日山 New Year 観察会報告（鳥栖市）

【日時】 平成28年1月2日

【参加者】宮原明幸、中島修、中島由美子、青柳隆、青柳良子、加藤芳隆、千住利夫、山下哲生、中原正義、甲木弘美、田辺憲子、伊東正幸、佛坂新一、佛坂安恵、久富文江、蒲原留美、永島博、山下航（西日本新聞）、橋本泰博（案内役）

【観察された野鳥】カイツブリ、アオサギ、ダイサギ、マガモ、イソシギ、キジバト、カワセミ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ミヤマホオジロ、アオジ、クロジ、カワラヒワ、イカル、シメ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス、ソウシチョウ



【案内役より】

誰もが正月を楽しんでいる最中の観察会。元旦の昨日は、大いに飲み、大いに食べて、今日は元気がないだろうから、まあ10名くらいの参加だろうな、と思っていた。ところが、なんと19名の猛者が参加。その中には、筑後支部から1名、それに西日本新聞の記者も馳せ参じてくれた。野鳥の会は不滅です！！

ということで、9時ちょうどに麓の駐車場をスタート。この駐車場も、観察の重要なポイントで、10種類弱を数えた。しかし、レンジャクの姿を見なかったのが残念だった。ヤドリギの実が不作な事もその一因かも知れない。

頂上下の駐車場までの上り坂を、ソウシチョウの群れやカラの混群を見たり、ヒヨドリとシロハラの鳴き声を聞いたり、シメを観察したりしながら歩いた。

新幹線の新鳥栖駅を見ながら駐車場に着いたけれど、鳥影は薄い。ここでよく見かけるイカルやジョウビタキの姿もなかった。

下りでは、桜の枝にウソを期待しながら歩いたけれど、姿を見せてくれなかった。声さえ聞こえなかった。数日前に、案内人が確認しているので、どこかにいることは間違いないのだけれども・・・それでも、カラの混群がまたしても現れて、エナガの可愛さに歓声が上がった。

下りの途中で芝生広場の方へ寄り道してから、朝日山の麓を通る市道へ。

ここは、道に沿って秋光川が流れているので、山とは違う鳥相が現れる場所。

ラッキーなことに、歩き始めてすぐ川縁付近にとまるカワセミを発見。

なかなか飛んでいかないので、全員で見事な翡翠色を堪能することができた。そこがこの個体のお気に入りの場所だったらしく、ちょっと飛んではまた戻るということを繰り返してくれた。同行の記者もスコープから見る初めての翡翠に感動している様子だった。

正月なので歩く人やドライバーも少なかったせいもあって、この日の朝日山は種類はさほどでもなかったけれど、鳥の数はとても多くて賑やかだった。

期待の鳥とは出会わなかったけれど、天候も良くて話も弾み、楽しい観察会だった。



(写真提供：橋本泰博さん)

■石井樋公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成28年1月10日

【参加者】宮原明幸、峰松小百合、友岡周一、田中義一、山田茂、川原直嗣、千住透、於保多喜夫、於保明美、小松常光、小松茂子、福田康典、長岡保、江口征信、永島博、佛坂新一、佛坂安恵、上野武美、福島祥代、松田信義、島田洋、橋本泰博、久富文江、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】カイツブリ、カワウ、コサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、コチドリ、イソシギ、キジバト、カワセミ、コゲラ、イワツバメ、キセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、ホオジロ、オオジュリン、アオジ、アトリ、カワラヒワ、イカル（声）、シメ、スズメ、ハシボソガラス、ハシ

ブトガラス

【案内役より】

水ものがたり館主催の観察会に野鳥の会も合流して、総勢 55 名での観察会となりました。指導を依頼されていた 3 名（宮原・福田・青柳）と島田事務局長の挨拶のあと、「今日観られそうな鳥」を紙芝居（野鳥の会作成のもの）を使っていくつか紹介。双眼鏡の使い方を説明した後、いよいよ「寒風」の中へ・・・という時季でしたが、この日は風もなく暖かな日差しで、とても気持ち良く、まさに「観察日和」でした。

水ものがたり館を出ると、進行方向正面の葉の落ちた高い木にツグミがたくさんいます。太陽光線を受けて色も模様もはっきり見えます。20 羽ぐらいはいたでしょうか？ 皆さん存分に観察できました。

左側の水辺にはカワセミ！ 展望デッキからはマガモ・カイツブリやオオバン・カルガモなど。頭上をカワウが飛んでいます。いつまでも見飽きることのない場所ですが、時間に限りがあるので二ノ井手堰が見えるところに移動しました。チョウゲンボウ発見！ 初め遠くの木のとっぺんにいて、後ろ姿しか見えなかったので「こっち向いて～」なんて言ったら、まるで聞こえたように、近くの木のとっぺんにやって来て顔も見せてくれました。色も模様もはっきり見えます。スコープを覗いて「かわいい～！」という声も。

「水ものがたり館」に申し込んだ方は、エサ作りもプログラムに入っていたので 11 時に観察会は切り上げました。鳥合わせの後、野鳥の会の方は、馬場清さんからの依頼で、愛鳥モデル校用「巣箱キッドの組み合わせ」作業。

会員以外の方は 牛乳パックのエサ作りをしました。

この観察会に参加された方から「双眼鏡が欲しい」とか「会の皆さんが持っているような本が欲しい」という注文があり、嬉しかったです。

今年度から年に 2 回「水ものがたり館主催の観察会」を行うことにしました。

11 月と 1 月で設定しましたが 時季が近いので、「来年度は 4 月と 1 月にしましょうか」ということになりました。

たくさんの方に野鳥への関心を持っていただけるいいチャンスなので、野鳥の会としても積極的に関わって行きたいものと思っています。

■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 28 年 1 月 11 日

【参加者】加藤芳隆、橋本泰博、原秀親、西川正記、長岡保、甲木弘美、菅蒲正邦、青柳隆、友岡周一、堀内義雄、松田信義、高崎洋三、高崎由美、田中照美、生田義弘、田中千恵子、津山悦子、千住利夫、田中政和、宮崎茂、宮崎律子、蒲原留美、江口富美子、佛坂新一、佛坂安恵、久富文江、高山英一、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ツクシガモ、マガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、セグロカモメ、ズグロカモメ、ユリカモメ、ダイサギ、クロツラヘラサギ、ミヤコドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、オバシギ、ツルシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、オオソリハシシギ、オオハシシギ、ダイシャクシギ、

ホウロクシギ、ミサゴ、オオジュリン

【案内役からの一言】

寒い朝にもかかわらず、多くの人が集まった。筑後支部の観察会と重なり、佐賀県支部 30 人、筑後支部 20 人、その他数十人と、海岸は多くの人で賑わった。NHK テレビのローカルニュースの取材があり、観察の途中でインタビューに 응じていた。満潮時になり鳥たちが少なくなった中で、冬には少ないオバシギ・ツルシギ・アカアシシギを見つけて終了する



■第 212 回森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 28 年 2 月 14 日

【参加者】久保田町づくり協議会から：20 名。

佐賀県支部から：青柳良子、長岡保、高山英一、田中義一、永島博、福田康典、山田茂、久富文江、島田洋（案内役） 合計 29 名。

【観察された野鳥】カワウ、カイツブリ、アオサギ、ハラサギ 2、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、バン、オオバン、タゲリ、ズグロガモメ、キジバト、ドバト、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ 8、ムクドリ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

今回の観察会は久保田町づくり協議会との共同開催です。

久保田町の人たちと野鳥の会佐賀県支部の合計 29 人での観察会となりました。

小学生や幼稚園の子どもたちも参加しています。天候は寒々とした曇り空。

集合場所には、ツグミやシロハラなどがさっそく登場しました。参加者は皆さん熱心で、楽しい観察会となりました。嘉瀬川にはカモの群れ。「カモにもヒドリガモやら何やらいろいろおるとやねー」と感心する声が聞こえます。鳥合わせをした後は集合写真撮影。地元との共同開催は、有意義な試みと思います。

今後もこのような行事をしてみたいと思いました。

※12/23 肥前鹿島干潟（新籠海岸）観察会は雨天のため中止しました。

2/7 林業試験場観察会、2/11 東よか干潟観察会は次号に掲載します。

観察会以外の支部行事や他団体への協力についての報告

■鹿島市立北鹿島小学校 探鳥会（報告：馬場 清）

【日時】2015 年 11 月 2 日（日）

鹿島市役所環境下水道課と学校の環境教育による肥前鹿島干潟探鳥会を行いました。対象は北鹿島小 4 年生 26 名で、支部普及部の馬場清氏を指導者として、会員の樋口さんの応援もあり、干潟に飛来している水鳥や後背地の稲刈りが済んだ田んぼの冬鳥を探しました。有明海の満ち潮が段々と岸边に近くなるにつれて、水鳥も目前に見えるようにな

り、子ども達は興奮のなかに数種類のカモたちやハマシギ、ダイサギ、ダイシャクシギ、セグロカモメ、ムツゴロウなどに見入っていました。

陸地の田んぼではアオサギ、ヒバリ、ジョウビタキなどを双眼鏡でとらえ、「これは学校近くや家の周りにも居るよ」と会話も弾んでいた。19種類を確認しました。

今後もラムサール湿地登録地の隣接学校として継続的に探鳥会ができることを望みます。



■肥前鹿島干潟（新籠海岸）ラムサール条約湿地登録記念イベント（報告：馬場 清）

【日時】2015年11月14日（土）

式典前に同干潟展望台で水鳥の観察会あり、地元の方や式典招待者の皆様が多数参加されました。クロツラヘラサギ、ツクシガモ、ナベヅル、多数のシギ・チドリなどが確認されて、さすがにラムサール条約湿地登録地と感じておられました。

式典は近くの北鹿島小学校の体育館で行われ、佐賀県知事や佐賀市長、国会議員、WWF、環境省の方々、市民の皆さんが多数参加されました。地元の青年により氏神様の獅子舞の演舞で式典に花を添えました。小学生による河川の水生生物調査、水質調査など自然環境の大切さの研究発表があり、豊かな干潟を次世代まで引き継ぐ決意も表明されました。野鳥は19種類確認されました。支部からは樋口作二、宮崎八州雄、中村安広、中村さやか、馬場清の各氏が参加されました。

■東よか干潟（大授搦）観察会（報告：馬場 清）

【日時】2015年11月16日（月）

ラムサール条約登録地の地元小学校の児童が、底生生物観察班と野鳥観察班に分れて、同干潟の生き物を観察・研究しました。我々は多くの水鳥たちを観察し易いように手助けをしました。干潟の持つ自然環境の大切さを後世に残す役目をしたいと願っています。支部指導員は宮原、中原、中島、樋口、馬場清の各氏



11/16 東よか干潟観察会



11/14 肥前鹿島干潟イベント



■黒髪山の自然を守る連絡協議会の植物&野鳥観察会 (報告：馬場 清)

【日時】2015年11月15日(日)

「黒髪山の自然を守る連絡協議会」に参加している団体(当支部も参加)で毎年開催されている観察会が行われました。黒髪山麓の自然の中に入り、「黒髪山系の植物」の著者である松尾優氏が初心者でも判るように詳しく、ていねいに解説をされました。

野鳥は県支部の山崎章弘・馬場清の各氏が担当しましたが、鳴き声はするけど姿は見え戸惑いを感じた山中の散策でした。

中腹の岳神社に参拝し、柱状節理の岸壁下を散策で心が清々しい一日でした。

【観察された植物】ツクシネコノメソウ、シュウブソウ、ナチシダ、ウチワシダ、マムシグサ、ダイヤモンドソウ、バイカアマチャ など30数種類以上に出会った。

【観察された野鳥】アオゲラ、キクイタダキ、キジ、シロハラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、ウグイス など13種類。



←マムシ草の実



岳神社→



有明海の満潮時刻 (白石・住ノ江港)



3月	5(土)	6:29/4.1m	18:22/4.2m	4月	2(土)	4:05/3.9m	16:20/3.8m
	6(日)	7:27/4.6m	19:23/4.7m		3(日)	5:44/4.2m	17:54/4.2m
	12(土)	11:31/5.5m	23:56/5.5m		9(土)	10:32/5.7m	23:05/5.8m
	13(日)		12:01/5.3m		10(日)	11:06/5.5m	23:44/5.5m
	19(土)	6:52/4.4m	18:59/4.3m		16(土)	4:57/4.1m	17:23/3.8m
	20(日)	7:40/4.7m	19:46/4.7m		17(日)	6:10/4.3m	18:32/4.2m
	21(祝)	8:19/5.0m	20:27/5.0m		23(土)	9:43/5.3m	22:16/5.3m
	26(土)	10:41/5.3m	23:04/5.2m		24(日)	10:12/5.3m	22:47/5.2m
	27(日)	11:04/5.1m	23:30/5.0m		29(祝)	0:56/4.5m	12:48/4.3m
					30(土)	1:55/4.3m	14:00/4.0m

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう!

- 東よか海岸
潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト!
- 鹿島新籠海岸他
潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト!

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。





皆さんからのおたより



●「鳥図の鳥たち 第10回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

今回は、この時期よく見かけるモズ、希に見かけるコクガン、マガンを紹介します。コクガンの画像は表記がありませんが、特徴である首の白い輪状があるので（現実にはもう少し上のところかと思われそうですが）コクガンと推定できます。画像は頭の上半分が欠けています。マガンも表記はありませんがたぶんそうだと思います。



モツ（モズ）



（コクガン）



（マガン）

●「佐渡島探鳥行」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

【探鳥地】新潟県佐渡 【日時】11月27日～29日

【参加者】青柳良子、鈴木紀久子、田中照美、中島由美子、馬場清、宮原明幸

『11月、稲刈り後の時期がトキを見るには絶好♪』と鈴木さんより情報を頂き、行って参りました。

11/27 福岡発新潟行きの直行便で9時35分の到着、どんより曇っています。出発前に中島さんより「佐渡汽船に問い合わせたら、出るかどうか分からないそうです。」とのお話があり、フェリーは12時35分発ですが、とにかく新潟港へ向かいます。新潟地方には、波浪警報が発令中『フェリーは大型だから、少々の荒れでも出るでしょう』と偉い期待の声。11時には佐渡汽船フェリー待合所に。ジェットfoil（高速船）は全便止まっています。フェリーは1時間前に出航か欠航を決めるとのこと。果たして、欠航です。次の便は16時、こちらギリギリまで様子を見て決めるとのことです。外は雨模様、行く当てもないので待合所で結果を待つことに。8階に食事処の案内があり昼食に。店は団体予約専用で入れませんでした。港が見渡せます。早速、鳥を見つけます。オオバン、ハジロカイツブリ、キンクロハジロ、ウミネコ・・・意気消沈の面々俄かに色めき立ちます。さすが鳥キチ（笑）

15時に、16時の便と最終便いずれも欠航のアナウンス。

『お天気だから、仕方ないよねえ』 針のむしろです。初日は佐渡へは渡れず、居酒屋でやけ酒でした。

2日目、一番のフェリーは6時発です。4時半には判断を出すとの案内でしたので問い合わせます。寝ぼけた声で『6時のフェリーは運行します。』との返答。タクシーを

飛ばします。新潟地区の波浪警報は昨晚解除になりましたが、佐渡は消えていません。船は大揺れだろうと酔い止めの薬を飲み乗船・・・5月の見島行き的高速船「おにようず」より揺れませんでした。8時45分、定刻より少し遅れで両津港へ着岸、佐渡の山々は薄っすらと雪化粧しています。早速レンタカーに乗り換え（佐渡は需要が無いので5人乗り以上のレンタカーは置いてないそうで、2台に分乗です。）トキを探しに。

事前に入手したトキの出現情報の場所をナビに入れ走ります。

最初に着いたところは田畑に林が点在する丘陵地。農作業をされている方に尋ねます。

「トキは、この辺りで見られますか？」 「10羽ほどがよく田におりているよ」探しましょう。ゆっくり農道を流します・・・白い物は、全てチェック 肥料袋です(笑)・・・この辺りには見当たりません。

次のポイント「トキ交流会館」方面へ。ナビに導かれ川沿いの道を曲がります、遠くの白い鳥をチェックしますダイサギでした。

いきなり上空をトキが通過します。9羽、下から見上げた羽裏の朱鷺色。

「綺麗！」青柳さん♪ 思わず声が上がります。双眼鏡で追います。小山の向こうへ飛び去りました。車を反転、飛び去った方向へ走ります。行き止まり。目の前には加茂湖が広がり水鳥が沢山浮かんで居ますが無視！ 別の道へ廻ります。山田の間の砂利道にハンドルを切ります。山の端の田に薄桃色の鳥影、トキです。7羽、泥の中に嘴を差し込み盛んに催餌中。

(田圃はビオトープとなっていて、ドジョウや小型魚類、タニシ等が放してあるそうです。)飛ばさないように車中より観察、たっぷり見せてくれます・・・突然、一斉に飛び立ちました?? 農作業の車がすり抜け走り去ります。飛び立つ羽裏のまた綺麗なこと。皆さん、すっかり余裕です。

近くの「佐渡トキの森公園」へ観光です。公園内の小鳥を観察しつつゲージの中の飼育トキを見て回ります。昨日1日棒に振っていますから、今日は昼食抜きで頑張ろうと決めていましたが、現金なもので両津港のフェリー乗り場へお昼を食べに戻ります。

食事を済ませ、再びトキを探して山田の道を流します・・・木々は未だ落葉しきらず紅葉の名残りを留めています。佐渡の野山は時の流れに取り残され懐かしい景色です。

トキが1羽、車窓を過ぎります。飛んだ方へ加速し追います。直ぐに見失いましたが、遠くの枯れ枝に薄桃色発見！ 双眼鏡で確認。トキが数羽止まっています。

「木に止まったトキは見たかぁ。」と田中さんが言われた矢先の幸運でした。

枯れ木は草に覆われた農道のずーと先の山麓です。最寄りの湯上(がたがみ)温泉の駐車場に車を止めて徒歩で近づきます。最初は温泉駐車場からスコープで、次は10歩前に進み、次は・・・ずいぶん近くへ寄ってしまいました。1羽逃げ・・・2羽飛び・・・最後には全部去りました。車へ戻り掛けた時、温泉横の田んぼに舞い戻ります。近い！ 昨日のロス分を十分取り返しました。

この時期、佐渡は16時半に日暮れです。今日の宿は、島の北側・相川ですので暮れないうちにと移動します。ホテルは海際に建ちオーシャンビューが謳いですが、風は強くてどんより鈍色の海があります。夜は、恒例の初見の鳥に乾杯♪ 早めに休みます。

3日目、風が強く早朝見回った時には鳥は出ませんでした。朝食時のレストラン前庭の木に小鳥が群れて止まります。皆さん、双眼鏡持参されていなかったので同定出来ませ

ん。 チョウゲンボウが小鳥を狩ります。

(※狩りの成否は分かりませんでした、小鳥はカワラヒワでした。)

チェックアウト後ホテルの近くのトキのポイントへ。 トキは食傷する程見ましたので、違う景色の中で見てみたいと欲張り、向かいます。

トキは見当たりません。 景色も代わり映えしませんので再び昨日の出現場所へ。

潟上温泉裏の田は空っぽ、山田の砂利道へ走ります。 砂利道の手前の農家前の田の奥に採餌中のトキ。 車より出て観察します。 逃げません『タウ♪タウ♪』と鳴いて1羽・2羽飛んで来ます。 頭の前から、脚の裏まで穴の開くほど見せてもらいました(笑)。 農家の庭先の木にはモズ、カケスも出ます。

「サドカケスよっ！」と田中さん 「???そんな亜種、聞いたことない」と私。

「フェリー乗り場を見た本に書いてあった(怒)」と田中さん譲りません。

そうこうしている間に時間は過ぎ、帰路に。

12時40分両津発のフェリーで15時10分新潟港~17時25分の飛行機で福岡へ。

新潟は、また雨です。『終わり良ければ、万事良し』と鈴木さんより慰めを頂きました。(涙)

※ 帰ってネットで調べましたら下記の記事がありました。

【サドカケス】佐渡カケスは1931年に鷹市信輔により新亜種として「佐渡島産カケスの一新亜種について」に記載された。佐渡カケスの特徴は、頭上が純白に近く、体の上面もカケスよりやや灰色がちで、体がやや大きく嘴高はカケスより高い点異なる。

【観察出来た鳥】カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カイツブリ、ウミウ、マガモ、カルガモ、ヨシガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、オオミズナギドリ、セグロカモメ、ウミネコ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、トキ、オオバン、イソシギ、ミサゴ、トビ、ノスリ、ハイタカ、チョウゲンボウ、キジ、キジバト、ハクセキレイ、モズ、ウグイス、カワラヒワ、アトリ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス

●「毎年恒例、巣箱の掃除」・・・古川 博英さん(吉野ヶ里町)

寒波が天気予報どおり佐賀にも本当にやってきて、会員の皆様も大変だったろうと思います。 予報が出ていた前日の1月23日にトムソーヤの森に設置していた巣箱を回収して、家で掃除しようと思っていましたが、24日から大雪となり、我が家も水道管破裂の断水で、てんやわんやでした。 断線したテレビのアンテナも修理していただいて、30日にやっと正常な生活に戻り、31日に巣箱をもとの位置にもどしてきました。 設置場所はトムソーヤの森の駐車場入り口から見渡せる場所です。肉眼で確認できます。 ヒントは人間に一番近い所で、高さ2mの所です。

さて、ドキドキの巣箱の中はと申しますと・・・3個ともシジュウカラが営巣していました。 一つは営巣したその上に枯葉が敷かれ、ヒメネズミの暖房ベットに再利用されていました。 枯れ葉一枚一枚をよく巣箱の中に積みあげたものだと思います。

一つは放棄された、割れた卵の上に、再度、苔が敷かれて2段巣になっていました。

一つは立派な産座のある巣でした。

せっかく、東脊振村のトムソーヤの森で巣立ったシジュウカラの古巣だから、東脊振村

の小学校で巣箱そのものを展示して、子供たちに、自然の営みを見てもらおうかとも思いましたが・・・それがまた私の悪い癖で・・・余計なことをすれば「変なおじさん」が古い古箱を持って来たと、先生たちに迷惑をかけるだけと自己納得して・・・掃除にとりかかりました。

今回は標本取りはやめて、巣箱の中身をバラバラにしました。巣箱の中の苔は、枯れているようだけど、苔は生きています。苔に挟まれた白い毛糸の繊維みたいものも燃やすと、犬をブラッシングした時に燃やす臭いで、動物の毛です。 トムソーヤの森にはイノシシしかいませんが？ 一体どこから？

そして・・・毎年思うのですが・・・毎年、巣箱を掃除したが良いのか、そのままが良いのか、どちらが良いかわかりません。 さらに巣箱を設置すること自体が、鳥にとってプラスなのかマイナスなのかもよくわかりません。 ただ、掛けた以上は、巣箱に責任を持たなければと思っています。 自然の中の、地球上の生命の営みに人間として参加したのだからと。 でも、参加した先はどうすればいいのか、もしかしたら、巣箱を掛けること自体が自然サイクルを破壊しているかも・・・と、色々試行錯誤しています。 最初は人が作った杉板の人工物であった巣箱ですが、現在は森と一体化した鳥の家ですね。



●2016九州・沖縄ブロック大会 in 筑後のご案内

2016九州・沖縄ブロック大会 in 筑後が、来る4月9日 福岡県筑後市で開催されます。

【日時】2016年4月9日(土) 13:00 ~ 4月10日(日) 11:30

【会場】4/9 大会会場：筑後市船小屋の船小屋温泉「樋口軒」 TEL：0942-52-2102

4/10 探鳥会：柳川市・昭代干拓～佐賀市・東よか干潟（大授搦）

【参加費】①宿泊参加：13,000円、②日帰り夕食・交流会参加：6,500円

③大会のみ参加：500円

【スケジュール】①受付：4/9 12:00～13:00

②大会 13:00～23:00（オープニングセレモニー、講演・発表・報告、交流会、二次会など）

③探鳥会：4/10 6:00 船小屋中之島公園早朝探鳥会、8:30 昭代干拓探鳥会、

10:00 東よか干潟（大授搦）探鳥会

④閉会・現地解散：11:30頃の予定

【問い合わせ・申し込み先】

日本野鳥の会筑後支部事務局 〒839-0853 久留米市青峰 1-14-29（松富士 将和方）

Tel/Fax：0942-45-1150 携帯：090-7159-3933

【締め切り】3月20日

Eメール：hohoduku@orion.ocn.ne.jp

※ウェルカム探鳥会：4/9 筑後船小屋駅 10:45 集合（新幹線到着に合わせ）で、筑後広域公園～宿までのコースでの1時間ほどの探鳥会を行いますので、こちらも楽しみに。ご希望の方は、事前申込下さい。



皆さんからの野鳥&生きもの情報



(紙面の都合上、東よか干潟は大授撮、肥前鹿島干潟は新籠と従来通りの表記にしています。)

■宮崎 八州雄さん(鹿島市)

- 12月12日【大授撮】ミヤコドリ4、アカアシシギ12、ツルシギ3+
【伊万里市八谷撮】トラフズク1 ハシボソガラスに追われる
佐賀県では基山、有明海沿岸以外で初?
- 12月19日【伊万里市八谷撮】チュウヒ1、ハイタカ1、ヘラサギ1
- 12月20日【佐賀市川副町】チュウヒ1、ハイイロチュウヒ3、オオタカ1、
ノスリ1、ハヤブサ1
- 12月23日【大授撮】ミヤコドリ6 当地の最大数を更新
- 1月3日【佐賀市川副町】ギンムクドリ2、ノスリ1
※ギンムクドリ複数は県内初? 越冬でも県内初
【鹿島市重ノ木】コチョウゲンボウ1
- 1月9日【新籠】アカツクシガモ1
【鹿島市音成】ハマシギ110 1羽に黄色リング
- 1月10日【大授撮】ミヤコドリ6、ウミアイサ4
- 1月16日【鹿島市山浦】オシドリ52+、カヤクグリ1、マヒワ20+、キツネ1
- 1月17日【鹿島市音成】ツクシガモ218
【鹿島市浜川河口】ツルシギ9
- 1月23日【鹿島市山浦】ルリビタキ♂2、ウソ3
- 1月31日【新籠】アメリカヒドリ♂1、アカツクシガモ1
- 2月7日【鹿島市】マナヅル300羽以上 先日の伊万里でも250羽程度と聞いており、県内でこれだけの数が降り立ったのは、記憶にありません。



アメリカヒドリ



渡りの途中で鹿島に立ち寄ったマナヅルの群れ



【訂正】203号15ページ

11月2日【鹿島市七浦干拓】ウミアイサ♀1 → 12月5日

■加藤 芳隆さん（上峰町）

- 【佐賀市】 11/8 オシドリ 141 12/29 ヤマセミ、オシドリ 359、ホオジロ、オオジュリン、ハシボソガラス、カワセミ、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、キセキレイ、アオサギ 1/17 オシドリ 217 1/23 (西与賀) クロツラヘラサギ 2、ヘラサギ 1
- 【伊万里市】 1/1 ナベツル 3、オオヒシクイ、ツクシガモ 6、コチョウゲンボウ、チョウゲンボウ♂♀、カワウ、ウミウ、ハマシギ、イソヒヨドリ、イソシギ、ホシハジロ、ハシビロガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、オカヨシガモ、コガモ、カルガモ、マガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ミヤマガラス、カササギ、カワラヒワ、ヒヨドリ、カワセミ
- 【福岡県山神ダム】 1/4 ヤマセミ 2、ルリビタキ 4、ミヤマホオジロ、メジロ、ウグイス、キセキレイ、ヤマガラ、シジュウカラ、ホウジロ、カイツブリ、ノスリ 2/6 ミヤマホオジロ、メジロ、シロハラ、キンクロハジロ、アオサギ、ツグミ、ルリビタキ♂♀、ベニマシコ♀、ウソ、シジュウカラ、ヤマガラ、ハシブトガラス、カケス、コジュケイ（声）
- 【鹿島市重ノ木】 1/17 コチョウゲンボウ 1
- 【大授搦】 1/23 クロツラヘラサギ 24、ヘラサギ 1、ダイシャクシギ 170+、ホウロクシギ 1、ツクシガモ、マガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ズグロカモメ、ユリカモメ 150+、カモメ sp、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ツルシギ 2、アカアシシギ、アオアシシギ、オオハシシギ、ハマシギ、ミサゴ、ハヤブサ、ハイイロチュウヒ♀、ミヤマガラス、コクマルガラス、ツグミ、シロハラ、ヒヨドリ、ヒバリ、ビンズイ、スズメ、ハシボソガラス、ミヤコドリ 6 1/24 クロツラヘラサギ、オバシギ、ミヤコドリ、ダイシャクシギ、アカアシシギ 2/7 ハマシギ、ダイシャクシギ、メダイチドリ、シロチドリ、クロツラヘラサギ、ズグロカモメ、ユリカモメ、セグロカモメ、ダイゼン、ツクシガモ、オナガガモ 2/11 オオハクチョウ（支部観察会で確認）
- 【佐賀空港】 1/24 タゲリ、ハイイロチュウヒ♀、ツグミ、ジョウビタキ、タヒバリ、モズ
- 【小城公園】 1/31 イカル、カワセミ、カササギ、バン、ヒヨドリ、ツグミ、アオサギ、コサギ、メジロ、ハクセキレイ
- 【神野公園】 1/31 カワセミ、コガモ、ツグミ、モズ、ヒヨドリ、コゲラ、カササギ、シロハラ
- 【脊振】 1/31 ミヤマホオジロ、ホオジロ、ジョウビタキ、シジュウカラ、コゲラ、ウソ（声のみ）
- 【鎮西山】 1/31 キクイタダキ、シロハラ、キセキレイ、キジバト、ヒヨドリ、ツグミ、ミヤマホオジロ、ルリビタキ、コゲラ、ソウシチョウ

■小松 常光さん（唐津市相知町）

- 【ノスリ情報】 12/12 伊万里市大川野 12/14、1/31 伊万里市 12/18 唐津市佐志・唐津市屋形石・鎮西町町 12/24 浜玉町 12/31、1/10 相知町伊岐佐 1/1 相知町牟田部 1/6 相知町 1/16 相知町久保

【相知町】12/12 チョウゲンボウ 2、アトリ、トビ多数 12/30 オシドリ、ムクドリ、カシラダカ、カワウ、ヒドリガモ、コガモ 1/3 カワアイサ、チョウゲンボウ、カイツブリ、セグロセキレイ 1/9 ミヤマホオジロ、ジョウビタキ、アトリー群、シジュウカラ 2/12 ハイタカ(?) 最近よく来る

【伊万里市】12/12 ミサゴ 12/14 エナガ、カイツブリ、マナヅル 2、アオサギ、トビ、ダイサギ 1/16 (八谷搦) ミサゴ 4、チュウヒ? 2/4 カワセミ、オオバン大群、モズ、カワラヒワ、ミサゴ、オナガガモ 2/4 (立川) キンクロハジロ、カイツブリ、ヒドリガモ

【唐津市】12/18 コウノトリ、モズ、シロハラ、ホオジロ、アトリ

【武雄市武内】1/16 オオバン

【小城公園】2/6 アトリ、エナガ、シロハラ、シジュウカラ、ミヤマホオジロ、コゲラ、イカル、カワセミ、ゴイサギ、ヒヨドリ、アオサギ、コサギ



左：カワアイサ
(1/3 松浦川・杉野付近)
右：ツクシガモ
(1/31 伊万里市)

※県外の野鳥情報

■山澤 健一さん(茨城県神栖市)

1月3日 【千葉県銚子市】キバラガラ

日本での目撃例は6例目らしいです。昨年の11月末から滞在しています。

(編集係より) 3年ほど前に福岡県に飛来しましたので、見たことがある支部会員の方もおられることと思います。



県外探鳥ツアーのご案内

春の渡りを満喫しよう! 山口県「見島」探鳥ツアー

【日時】 4月29日(金)~5月1日(日)

【探鳥地】 山口県萩市『見島』

【見どころ】 毎年恒例となった見島に、春の渡り途中の鳥達に会いに行きます。見島は、山口県萩市沖45kmの日本海に浮かぶ孤島です。

この時期、大型小型のヒタキ類やムシクイ、セキレイ類が大挙して通過して行きます。尚、島にレンタカーは有りませんので徒歩で見て回ります。

※佐賀より車、乗り合わせて行きます。

【費用】 2万円強の見込み 【申込み締め切り】 3月31日

【申し込み先】 宮原 明幸さん(佐賀市・携帯:090-2507-7085)まで。





最近の新聞・情報誌の記事から

保護 クロツラヘラサギ

絶滅 種 危惧



けがをして血で羽が赤く染まったクロツラヘラサギ。鹿島市北船津の浜東部干拓地(日本野鳥の会・中村さん撮影)

鹿島市の干拓地 羽根にけが

ラムサール条約に登録されている鹿島市の有明海干潟近くの干拓地で22日、絶滅危惧種の水鳥クロツラヘラサギが保護された。羽根にけがをしており、治療のため佐賀市内の動物病院に運ばれた。

21日夕に鹿島市の職員が船津地区の浜東部干拓地で見掛け、近づいても逃げるそぶりをみせないの気になつていった。22日昼ごろ、羽が血で赤くなっているのが確認され、市職員や野鳥の会の人たちら約10人で囲

んで近づき、網で保護した。弱っているため、体長や性別は調べられないが、くちばしの様子から成鳥とみられる。近くに幼鳥を見掛けた人もいて、親鳥の可能性もある。

連絡を受けた具生産者支援課の職員が病院に運んだが、骨折などけががひどければ自然に戻せない場合もあるという。保護した人たちは、段ボールの中でおとなしくしている姿をのぞき込みながら、回復を願っていた。(小野靖久)

(16/1/23 付け：佐賀新聞)

その後、このクロツラヘラサギは治療を受け、2/3 に鹿島市浜町の漁港近くの中州に放鳥されました。(2/4 の佐賀新聞に記事あり)

マナヅル 鹿島に飛来

新籠海岸 近く 「北帰行」羽休め

鹿島市

ラムサール条約に登録されている鹿島市の新籠海岸近くの田んぼに7日から8日にかけて、300羽近いマナヅルが飛来した。鹿児島・出水平野からの「北帰行」の途中で、羽休めに立ち寄ったとみられる。日本鳥学会の宮崎八州雄

(16/2/13 付け：佐賀新聞)



さん(52)鹿島市によると、7日夕、白石町有明方面から6、7グループに分

かれたマナヅルの群れが飛来し、次々に降り立ったという。宮崎さんは「まとまった群れが鹿島市内に降りたのは初めてでは」と話す。写真家の中尾勘悟さん(82)鹿島市も8日午前

9時過ぎにマナヅルの群れを見つけ、カメラに収めた。田んぼをつつく様子はなく、天気が良かったので羽休めに来たんだらう。中尾さんに気付いた群れは、北西に向かって飛び立ったという。

(田田浩二)

田んぼで羽休めをしているマナヅルの群れ。8日、鹿島市(宮崎八州雄さん撮影)



休耕地で風力発電

唐津市 再生可能エネ法活用

2社、収入の1%地域に還元

唐津市は、農山漁村再生可能エネルギー法を活用し、通常なら許可が下りない農地に風力発電2基を民間業者が設置することを認めた。同法に基づく発電機設置は県内で初めてで、売電収入の1%は地域に還元される。来年度からの稼働を予定している。

2基、来夏稼働へ

風力発電を設置するのは100世帯分の年間使用量に相当する。売電収入は1基7700万円が見込まれ、うち1%の77万円が湊町と相賀地区の農業振興などを目的に寄付される予定。

今回、風力発電が設置される農地は上場土地改良事業で整備された土地で、農地法により農業以外を目的とした転用許可は下りないケース。しかし、2014

年5月施行の農山漁村再生可能エネルギー法により、地域貢献する計画であれば、自然エネルギーの発電機設置が可能となり、唐津市などをつくる協議会が1月29日に承認した。

市企画部の阿蘇靖則副部長は「唐津市は3年前に制定した条例で再生可能エネルギーの推進をうたい、総合計画でも重要施策に位置付けている。調査結果で風が強いことも明らかになっており、十分な地域貢献が期待できる」と話している。

(日高勉)

(16/2/5 付け：
佐賀新聞) →

(16/1/29 付け：
佐賀新聞) ↓

探鳥日記 中村 さやか

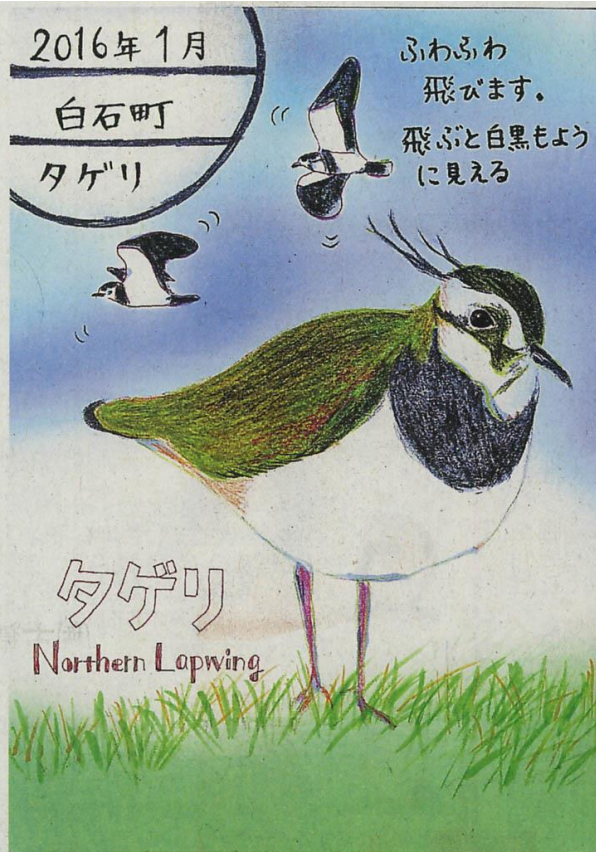
タゲリは大型のチドリ仲間ですが、水辺にはあまりおらず、畑や稲刈り後の田んぼ、ゴルフ場の芝生の上などでよく見かける冬鳥です。

頭に長い飾り羽、黒い前掛けがあり、背中によく見ると光沢のある深い緑色で、なかなかおしゃれな野鳥です。冬はたいてい群れで生活しており、たくさんのタゲリが空をふわふわ飛ぶ姿はとてもきれいで見とれます。

さらに、鳴き声がとても変わっていて、「ミューミュー」と子猫のようなかわいい声で鳴きます。猫のような鳴き声といえば「ウミネコ」が有名ですが、私はタゲリの方がより猫っぽい声だと思うのですが…。

(日本野鳥の会県支部幹事)

子猫のような鳴き声



アイスくじに野鳥マーク 竹下製菓に感謝状

感謝状を受け取った竹下敏昭社長(中央)と、市民団体や野鳥の会のメンバーら。小城市の竹下製菓



(16/1/12 付け：佐賀新聞)

「干潟PR貢献」と市民団体

県内
有明海の魅力を伝えようと、沿岸部の住民や研究者でつくる市民団体「まえうみ市民の会(樋口作一会長)」と日本野鳥の会(支部)宮原明幸支部長は7日、竹下製菓(本社小城市)に感謝状を贈った。同社が人気アイス「ブラックモンブラン」の当たりくじに野鳥のマークを採用したことで、渡り鳥が飛来する干潟のアピールに貢献したとたたえた。

佐賀、鹿島両市の一部干潟は昨年5月、豊かな生態系の湿地を守る「ラムサール条約」の登録地になった。同年のブラックモンブランの当たりくじが偶然にも野鳥マークだったため、「時宜を得た企画」と野鳥ファンらの中で話題になり、その後、同社が県予算を活用して、ラムサール条約登録記念の限定版パッケージを開発することにも話題が発展した。

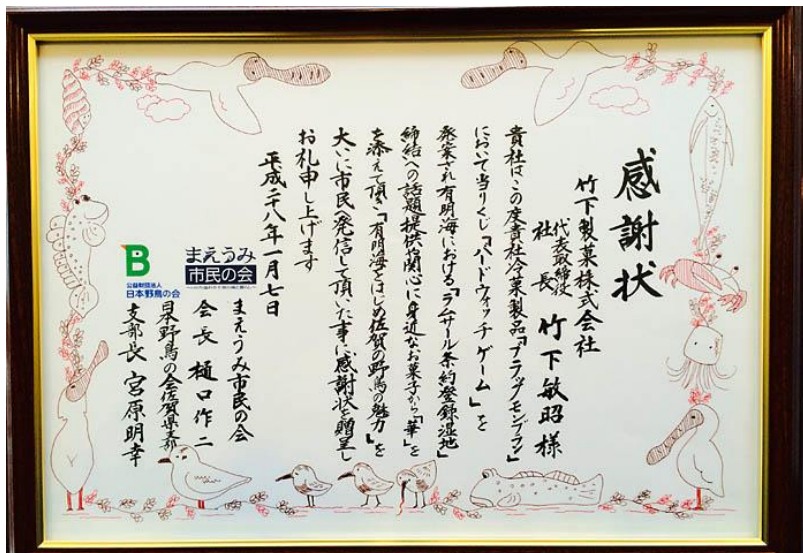
この日は樋口会長や宮原支部長、鹿島市の干潟展望館のジュニアレンジャーら6人が同社を訪れた。樋口会長が「ラムサール条約登録地の話題提供に、身近なお菓子から華を添え、有明海や佐賀の野鳥の魅力を大いに発信していただきたい」と感謝状を読み上げた。竹下敏昭社長(78)に手渡した。

竹下社長は「登録と当たりくじのタイミングが重なって話題になり、こちらこそ感謝している。今後も社



↑ ↓ 写真提供：まえうみ市民の会

員と共に、地域色を出した企画を考えていきたい」と話した。感謝状は社内に飾られる。(田田浩二)





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：3月6日(日)、4月3日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：3月1日(火)、4月5日(火) 10:00~ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：3月12日(土)、4月9日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：3月13日(日)、4月10日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：3月20日(日)、4月17日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：3月27日(日)、4月24日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般・中学生以上 200 円 中学生下無料)

日時：3月1日(日) 10:00~ (定例探鳥会)

場所：朝倉市・甘木公園 / 集合：10:00 甘木公園噴水駐車場前

担当：木原直人さん 携帯：090-4516-4467

日時：3月13日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：久留米市・高良山 / 集合：9:00 高良山下宮社

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：3月20日(日) 船小屋・中の島~筑後広域公園 (企画探鳥会)

場所：福岡県筑後市・みやま市 / 筑後市船小屋の中の島公園内遊具広場集合：9:00

担当：江口浩喜さん 携帯：090-4516-1123

日時：3月27日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・濃施山公園 / 集合：9:00 濃施山公園内すいせん橋

担当：野田達行さん TEL：0944-58-1672

【最新野鳥情報】 佐久間 仁さん【唐津市】

2016/2/11 【唐津市七山榎原湿原】ホシハジロみ1羽

※モニタリング 1000 冬期調査の帰路に榎原湿原に回ると、カルガモ約 50 羽とマガモ一つがいに混じってホシハジロみ。 海岸に近い河や池などで見かけることはありますが、一番近い浜崎海岸からも相当離れ、標高の高い同湿原になぜホシハジロが？…。



~編集部からのお知らせ~

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯:090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡！

①3月6日 唐津市・松浦河畔公園



②3/13 ⑤4/24 佐賀市・東よか干潟



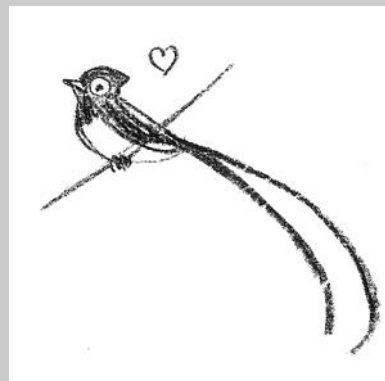
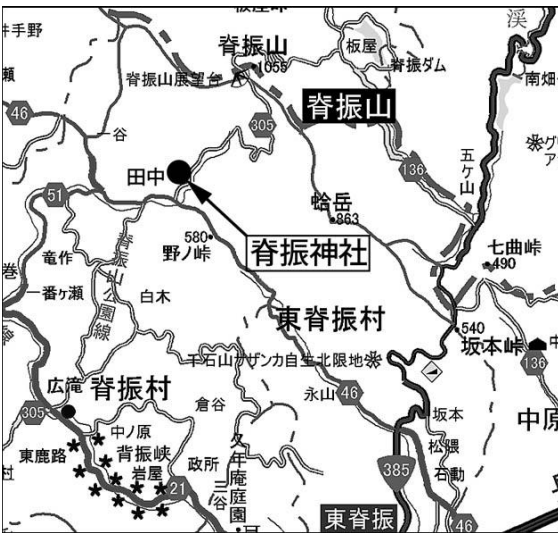
③3月20日 小城市・小城公園



④4月17日 佐賀市・石井樋公園



⑦5月15日 神埼市脊振町・脊振山





観察会などのご案内 (2016年3月～5月)

①3月6日(日)

松浦河畔公園観察会(唐津市)

[集合] 9:00 同公園管理事務所前
 [担当] 佐久間 仁さん(唐津市)
 [携帯] 090-8407-8347
 [見どころ] 山野の鳥やアシ原の鳥たち、河口付近の水門の内外でのカモの種類の変化。
 毎回40～50種の鳥が観察されます。

②3月13日(日) ⑤4月24日(日)

東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] (3/13) 10:00 (4/24) 9:00
 佐賀市東与賀町 東よか干潟展望台
 [担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225
 [見どころ] 3月～4月にかけては春の渡りが本格的になる時期です。種類の移り変わりにも注意してみましょう。

③3月20日(日)

小城公園観察会(小城市)

[集合] 09:00 小城公園駐車場
 [担当] 蒲原 留美さん(小城市) 090-5294-3103
 青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353
 [見どころ] 園内の桜が咲き始める時期です。
 公園内の小鳥たちをウォッチング。レンジャク類が見られるといいですね。

④4月17日(日)

石井樋公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:30
 佐賀市大和町 石井樋公園「水ものがたり館」
 [担当] 青柳 良子さん(小城市)
 [携帯] 090-1659-7353
 [見どころ] 春の渡りに時期です。気の早い夏鳥たちが途中休憩しているかも。

⑥4月29日(金)～5月1日

見島探鳥ツアー(山口県萩市)

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市)
 [携帯] 090-2393-1286
 [参加費] 約2万円
 [見どころ] 春の渡りの真っ最中。普段は見ることのできない鳥たちをたっぷり楽しんでください。
 ※詳しくは20ページの案内をご覧ください。

⑦5月15日(日)

脊振山観察会(神崎市)

[時間&場所] 08:00
 神崎市脊振町腹巻の脊振神社(下宮)
 [担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
 [見どころ] 新緑やミツバツツジなどが美しい脊振の森でさえずるオオルリ・キビタキ・センダイムシクイなどの夏鳥たちの歌声を楽しみましょう。

共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
 公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
 電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636
 日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
 事務局：島田 洋(電話：携帯 090-2393-1286)
 〒849-0934 佐賀市開成1-3-11
 郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」